

# 「第1回防災推進国民大会」の開催について

内閣府（防災担当）普及啓発・連携担当

## はじめに

「第1回防災推進国民大会（以下、「ぼうさいこくたい防災国大」という。）」が8月27日（土）、28日（日）に東京大学本郷キャンパスにおいて、第1回防災推進国民大会実行委員会（内閣府、防災推進国民会議、防災推進協議会）主催により開催されました。以下、同大会について報告いたします。

## 目 的

気候変動による災害の激甚化や経済社会の高度化が進む中で自然災害による被害を軽減するためには、行政による「公助」に加え、国民一人一人が自ら取り組む「自助」、そして、地域、学校、企業、ボランティアなど、互いに助け合う「共助」の重要性が益々高まっています。「自助・共助」の取組を促進するためには、国民の防災意識の向上を図るとともに、過去の災害から得られた貴重な教訓を学び、様々な主体がお互いの意識や経験を共有することが不可欠です。ぼうさいこくたい防災国大は、「自助・共助」の取組について、子供から大人まで、一般の方から防災の専門家まで幅広い人々が学びあうことを目的としています。

この点は、昨年3月の第3回国連防災世界会議にて採択された『仙台防災枠組2015－2030』においても、「ステークホルダーが責任を共有」することが重要であると確認されています。防災国大の主催者の一つである『防災推進国民会議』は、これを受けて、中央防災会議会長である安倍内閣総理大臣の呼びかけにより、昨年9月に設立

されたものです。同会議は、学术界、教育界、産業界、医療・福祉界等の各界各層の代表者により構成され、構成員が連携して国民の防災意識の向上等に取り組むことを目的としています。

## 開催概要

防災国大は「大規模災害への備え～過去に学び未来を拓く～」をテーマに、多様な主体の参画と連携を具現化するため、家族連れから専門家まで幅広い人々が楽しめるプログラムとなるよう、各出展団体に協力していただきました（当日のプログラム等の詳細については、公式HPをご覧ください<http://bosai-kokutai.jp/>）。

ここでその一部を紹介いたします。

### 「第1回防災推進国民大会」開催概要

テーマ：大規模災害への備え

～過去に学び未来を拓く～

開催日：平成28年8月27日（土）～28日（日）

場 所：東京大学本郷キャンパス

主 催：第1回防災推進国民大会実行委員会  
（内閣府、防災推進協議会、  
防災推進国民会議）



開会式の様子

## ・メイン会場（安田講堂）での企画

27日は開会式に引き続き、大西日本学術会議会長が、「自助・共助」の重要性について基調講演を行いました。続いて、経済界、教育界等の各界の代表者によるシンポジウムや、市民セクター、企業連携等の分野別にディスカッションを行いました。心温まるエピソードとしては、東日本大震災を経験した宮城県気仙沼市立階上中学校の生徒が登壇し、「津波は怖くないですか？」との問いに、「知って学ぶことにより、怖くなくなった。」と回答し、今回のテーマである「過去に学び、未来を拓く」にふさわしい言葉が、これからの防災を担う若い世代から発せられました。

## ・子供向け企画

夏休み期間中の土日での開催であるため、夏休みの宿題に役立つ展示、地震の揺れの実体験や台風を疑似体験する展示等も行われ多くの家族連れで賑わいました。

## 効果

大会期間中に、来場者約1万2千人、動画の生中継の閲覧者約1万2千人、テレビ

や新聞報道でも取りあげられたため、多くの人々に訴求できたものと考えています。特に来場者に対するアンケートでは95%の人が来場により防災意識が向上したと答えており、大きな効果があったと考えております（下図参照）。

また、出展者に対するアンケートでは回答した全団体が次回も出展したいと答え、また、「他の出展団体と交流することができ、非常に有意義であった。」など、各団体間の連携という点でもたいへん有効であったと考えています。

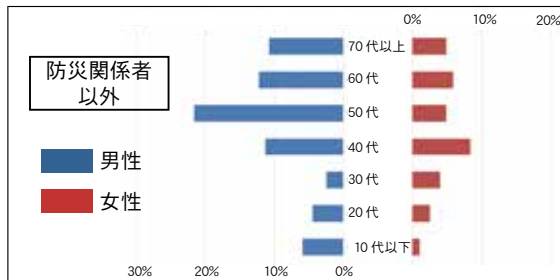
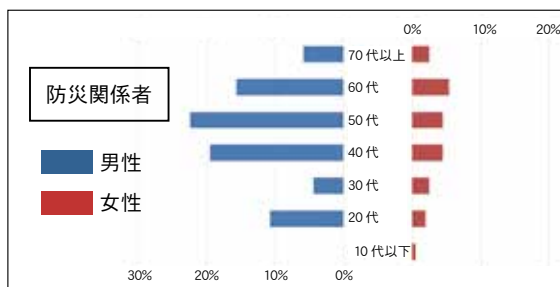
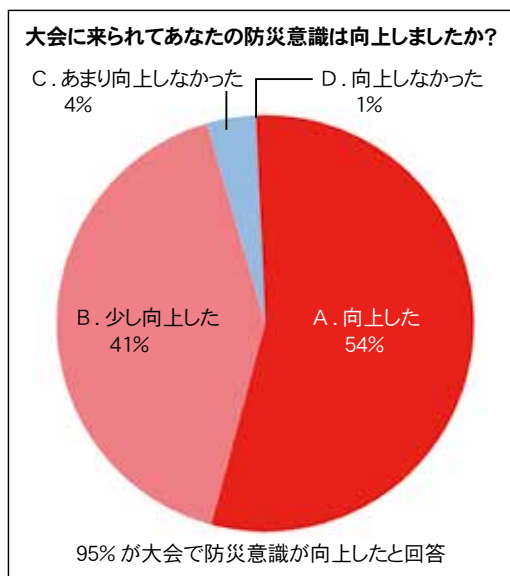
## 第2回大会に向けて

第2回防災国大は、平成29年11月26日（日）～27日（月）に仙台国際センターで開催する予定です。今年の成果を踏まえ、連携の取組をさらに促進していけるよう、準備を進めてまいります。

### 〈参考〉

大会の様子の動画やディスカッション等で使用した資料の一部については、TEAM防災日本のホームページ (<https://bosaijapan.jp/>) からダウンロードいただけます。

### 【アンケート結果】



回答者数／442人 回答者像／・男性 73%、女性 27% ・防災関係の職業 49%、それ以外 51%